

令和4年度第1回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和4年4月26日（火）18:00～19:15

【場 所】 浜益支所3F旧議場

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 集落支援員プロフィール
- 3) 石狩市浜益支所機構図（令和4年4月1日）
- 4) 令和3年度地域自治区振興事業実績調書
- 5) 令和4年度主要事業の概要について

【出席者】8名（13名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美	○	委員	水崎 理	○
副会長	佐藤 晃一	○	委員	阿部 ゆかり		委員	徳田 和之	
委員	岡本 俊介		委員	木村 美幸	○	委員	柿岡 奈々絵	○
委員	久慈 貞子		委員	徳地 克実	○			
委員	鳴海 翔		委員	赤間 香子	○			

- （支 所） 高橋支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）
 伊藤市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）
 川村集落支援員、佐藤（政）主査、山田主査、柿崎主査
- （本 庁） 企画経済部企画課 宇野課長、芳賀主査
- （事務局） 佐々木地域振興課長、佐藤（慎）主査

【傍聴者】 2名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 令和4年度浜益支所体制について
 - (2) 令和3年度地域自治区振興事業の実績について
 - (3) 令和4年度主要事業の概要について
- 4 協議事項
 - (1) 高齢者に優しいまちづくりに関する意見交換
- 5 その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

1 開 会

【事務局】

それでは、定刻でございますので、令和4年度第1回地域協議会を始めてまいりたいと思います。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から、第1回浜益区地域協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

今年は、雪解けが遅く、農作業の遅れが心配されましたが、4月に入ってから気温が高くなり、ビニールハウスの種まきもほぼ終了し、例年並みの進捗状況と伺っております。また、桜の開花も例年より早まっております。浜では漁協青年部による朝市も連休から始まるようです。これからのシーズン、入込み客等による交流人口や関係人口の増が期待できる、浜益区にとって最も活気のある季節を迎えようとしております。

さて、今日は新年度に入って第1回目の会議であり、支所のほうも人事異動等によって、支所長をはじめとした新しいメンバーを迎え、私ども地域協への補助金はもとより、区の活性化や地域づくりにご尽力いただければと思っております。

今日の議題は3件の報告事項と協議事項として第9期地域協の継続の検討テーマであります「高齢者に優しいまちづくり」に関する意見交換についてであります。

これから進展する浜益区において、地域に暮らす方々が、生きがいを持ち、安心・安全に、そして、心豊かに暮らすことができるよう、どうぞ皆様方に活発なご意見をお願い申し上げまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の会議は委員13名のうち出席委員8名で過半数に達してございますので、成立しております。会議に入ります前に、4月から着任いたしました高橋支所長よりご挨拶申し上げます。

【高橋支所長】

4月1日付け人事異動によりまして、浜益支所長に任命されました高橋です。平成元年に当時の石狩町役場の職員となり、今年は平成で言えば34年ということで34年目になります。

ほとんどを建設水道部の技術職ということで、道路や下水道、水道の施設整備、また6年間石狩湾新港に派遣され、港湾の建設にも携わってまいりました。ここ、浜益区で言えば、10年以上前ですが、浜益浄水場の更新工事に携わっております。

この、地域協議会では、浜益区における諸課題の解決に向けた方策や、地域振興に向けた委員各位の議論を反映させつつ、浜益区の振興につなげていくよう、私どもも努力しながら各種事業を計画的に進め、元気な浜益区を目指して、微力ながら努力してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。また、すでに新聞等で紹介されておりますけれども、4月1日から活動を開始しております浜益区集落支援員の柿岡奈々絵さんと川村佳広さんでございます。みなさんよくご存じの方々ですので、略歴はお手元に配布した資料でご覧いただくこととしまして、お二人からそれぞれ、一言ずつご挨拶をいただきたいと思っております。はじめに、柿岡支援員をお願いします。

【柿岡支援員】

4月から集落支援員に着任しました柿岡と申します。集落支援員になったからには、皆様のお手元にお配りいたしました、このチラシをご覧いただければいいかなとは思いますが、多岐にわたっているいろいろな地域の現状を調べ、集約するという仕事が主な仕事にはなるんですけど、私の中心の仕事は移住・定住アドバイザーということで、外から人をどれだけ引っ張ってきて住んでもらうかというのが、メインミッションとなっております。そのために、まず住んでもらうために、お仕事のあっせんと住宅の提供というものを中心に活動していきたいと思っております。色々な課題はあると思っておりますが、5年、10年かけてでも形になればいいかなと思っておりますので、今後ともご協力お願いいたします。

【事務局】

川村支援員をお願いします。

【川村支援員】

川村でございます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。ご縁がありまして、浜益中学校で校長をしていたところでございますが、浜益のためにということで、力を尽くしていきたいと思っております。もう既に各地区回り始めております。それから、体操教室にも加えていただきまして、親交を深めております。私のミッションとしては、一つは、浜益の暮らしということでスポットを浴び、困りごとを聞いていくこと。その前に人間としてお付き合いをして、本音で話せるような関係の方々をどんどん増やしていこうと思います。

浜益には、歴史と文化と伝統というものがあまして、これを残して発信する、あるいは子どもたちを繋げていくということも、私の頭の中では意識されております。

大きなミッションになりますが、令和7年度に開校予定の小・中学校を統合し、保育園併設の教育機関ができますので、その支援をするということです。これに関しましては、既に小学校・中学校にお邪魔をいたしましてご紹介いただき、校長先生や教頭先生たちとも、個別に話を始めたところで

す。学校にとっての困り感等を聞きながら、地域の課題と学校の課題がうまく結びついて、未来の学校づくりに何かしらの力添えができればと考えております。

私一人の力ではもちろんのことではございませんので、皆様のお引き立てと、学校へのご理解をどうぞよろしくお願いいたします。

3 報告事項

【渡邊会長】

それでは、報告事項①から③まで一括事務局から説明をお願いします。

【高橋支所長】

それでは、報告事項①令和4年度浜益支所体制について私からご報告させていただきます。お手元の資料2枚の浜益支所機構図をご覧ください。

浜益支所長のもと、課長職では佐々木地域振興課長、開発市民福祉課長、浜益生涯学習課長兼務です。それと、私と同じく4月1日付け人事異動で着任しました、伊藤市民福祉課保健福祉担当課長兼はまます保育園長。特命担当参事として鎌田副市長。国保診療所では高下所長のもと、兼務であります。伊藤浜益国保診療所庶務課長。以下、主査13名、担当12名、計30名での浜益支所体制となります。そのほか、浜益支所内に本庁部局所管の保健福祉部はまます保育園、建設水道部都市整備課、教育委員会生涯学習部浜益生涯学習課の1園、2課が浜益支所内に設置され、職員8人と支所業務兼務による職員による業務が行われておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして令和3年度地域自治区振興事業の実績について、私から説明いたします。

令和3年度地域自治区振興事業実績調書をご覧ください。地域づくり振興基金は、平成17年度に1億円を基金として積み立てまして、各年度、協議会の承認を得ながら、様々な活動が行われております。

区民カレンダーにつきましては、平成6年度に村民カレンダーとして製作が開始され、制作3年目までは前年の写真を利用。その後、歴史ものの写真へと移り変わりをまして、令和2年度版から、また前年の写真を使用した仕様となっております。総事業費は、昨今の原材料費の高騰により、大幅に値上がりし、792千円となりましたが、協賛金400千円と振興基金補助金240千円、その他繰越金で製作できました。今後も制作費の高騰や協賛事業者の減少により協賛金の減少が予想されることから、実行委員であり方について検討が必要となっている状況であります。

次に、フットパスウォーク事業についてですが、当初、4シーズン各20名で計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、7月の1回のみの実施となっております。参加者は11名。そのため、総事業費は64,487円となり、補助金も1/2の32,243円となりました。

水産物普及プロジェクトは朝市とサマーイベントの開催に要する経費の一部を補助しております。朝市の回数が短縮となったため、総事業費が減り、3,698,625円の補助金は1,660,300円となっております。

続きまして、浜益150周年記念事業です。浜益コミュニティセンターきらりの公園に遊具と記念碑を設置したほか、セレモニーを実施し、それに参加していただいた児童、生徒に対して150周年記念ロゴマークがプリントされたパーカーを製作、配布させていただきました。総事業費、補助金と

もに6,000千円となっております。

続きまして令和4年度の主要事業の概要について、次のページの資料をご覧ください。

ワーケーション事業については、旧カフェ・ガルを活用しまして、テレワークができる施設として活用するため、IT企業のさくらインターネット株式会社さんとNPO法人エゾロックさんと市の三者共同で実施する事業で、今年で2年目となります。最長で1週間ほど浜益に滞在して、会社の仕事をしてもらいながら、休日には体験農業などを通じて、地域の問題解決の提案をしてもらうなどの取り組みを行う予定です。昨年はIT企業に限定をしておりましたが、今年度はジャンルを増やし、多様なニーズの把握をしたいと考えております。6月から11月の間に1週間程度の滞在で複数回来訪してもらう予定ですが、地域の人々の魅力や、地域の産業を取り入れながら、浜益らしさを発揮した取り組みで、持続可能なワーケーションスタイルを確立したいと考えております。事業費は昨年同様2,000千円を予定しております。

区民カレンダー製作事業については、製作費の高騰などの影響により、手法の変更など実行委員会にて検討を進める予定です。予算額については、昨年同様240千円を見込んでおります。

水産物等普及プロジェクト事業につきましては、5月の日曜日4回予定している朝市と、8月6日に予定をしております、みなと祭りの開催費用の一部を補助します。

浜益フットパスウォーク事業につきましては、4シーズン各20名を定員として実施を予定しています。

浜益区地域おこし協力隊活動事業につきましては、現在の協力隊員 井上君のほか、新規隊員1名の合計2名の活動にかかる経費として、9,088千円。井上君に関しましては、果樹をメインとして交流人口拡大等の活動を、新隊員はまだ応募はない状況ですけれども、高齢者サロンのPR活動や浜益ソウルフードの普及啓発活動を担っていただきたいと考えております。

浜益区集落支援員活動事業費については、支援員として4月1日より、川村佳広さんと柿岡奈々絵さんに就任していただきました。集落の様々な課題を洗い出し、地域の皆さんと共に、解決に向けた取り組みを進めます。その活動経費と、人件費などを含めまして、事業費として8,491千円を予定しております。

浜益区観光まちづくり推進事業については、浜益中学校の修学旅行時に行うプロモーション活動への支援や、秋の閑散期に開設するアンテナショップの実施にかかる費用としまして、530千円を予定しております。私からは以上です。

【渡邊会長】

令和4年度浜益支所体制の説明と、地域づくり振興事業、新年度の主要事業について、説明がありました。これについて何か確認しておきたいことはございませんか。

～ 確認事項意見なし ～

【渡邊会長】

次に意見交換に移っていきたいと思います。前回の協議の内容や意見交換の進め方等、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

今日の協議事項ですが、グループ討議をやってみたいと考えています。皆さんお気づきだと思いますが、今日のグループ分けは、先日、北海道新聞で話題沸騰いたしました、黄金山の雪型が何に見えるのでしょうかという、カメか、ゾウか、オナガドリかということで、3チームを作らせていただいております。本日は、3月8日の地域協議会において、「高齢者に優しいまちづくり」についての意見交換にて、参加された委員の皆さんが感じている地域の課題について出していただいたところです。

それについて、今後、持続可能な形で、地域が一体となって、取り組むにはどうしたら良いか、何ができるか。また、どんな資源があるかということについて、グループ討議の形式で深堀りをしていただければと考えております。

会議資料の中に細かいマス目のシートがあると思います。これは、大谷翔平選手が高校1年生の時にプロ野球選手になるために何をすべきかということの小目標、大目標を設定し、それに必要な事項をどんどん書き詰めていったものです。実際に現在メジャーリーガーとなって叶えていったものです。これにあやかりまして、これと同じような方法で「高齢者に優しいまちづくり」を実現していこ

うと、「雪対策」、「教育・伝承」、「危険対策」この3つの課題について、前回、地域協議会の中で課題を出していただいたものを分類させていただきました。これに関して、お席に配布させていただきました用紙の中で、個人ができること、自治会ができること、支所ができることなどの項目の中で、それぞれ目標、プラスイメージの提案をしていただいて、この目標達成のために、どんなことが必要かというものを挙げていただきたいと思います。これが積み重なったうえで「高齢者に優しいまちづくり」が実現していくのかなと思っています。それぞれの席の中で司会の方、書記の方、発表の方を決めて、ざっくばらんに活発な意見を交わしていただきまして、意見をそれぞれ付箋に書いて、それぞれのマスに貼って埋めていくという形をとっていただきたいと思います。時間に関しては、意見交換の時間は25分、発表の時間は5分とさせていただきますので、それぞれの席でよろしくお願い致します。

では、それぞれの意見を否定することなく、お話ししていただければと思います。時間を計り始めますのでよろしくお願いします。

【グループ討議】 25分間

【事務局】

では、お時間となりましたので、まずはオナガドリ席（雪対策）から発表していただければと思います。

【オナガドリ席（雪対策）柿岡委員】

発表します。オナガドリ席は雪対策についてお話をさせていただきました。

特に今年は、凄い未曾有の大雪で、まだ皆さんの記憶に新しいことかと思っています。

個人ができること	自治会ができること	支所ができること
連日の大雪にも負けない心 近所の手伝い せめて、自宅の前は時間がかかっても自分でする こまめな雪かき	地域の人が使える「融雪溝」を会館の前に設置した町内会があった。 除雪ボランティアの紹介	町内会に対して予算を取る AIを活用した効率的な除排雪体制の構築
子どもたちのボランティア ボランティア除雪 授業に除雪する時間を割く	オナガドリ席 雪対策 ・雪の堆積場所の確保→捨てるところがない ・排雪サービス→民間業者がおらず、大雪後排雪が追い付かない ・福祉除雪サービスの在り方→担い手不足、どこまでやるか 渡邊隆之、渡辺真奈美、赤間香子、開免克久、山田英世、 柿岡奈々江	流雪溝 除雪のためのショベルカー貸し出し 除雪機の貸し出し 除雪機械 除雪機買って労力削減 24時間連絡が取れる人がいること
有料での除雪サービス提供者 広範囲の除雪要求で大変 農家（閑散期） 各事業者さんたち立派な重機を持っています	屋根とか建物の倒壊 大変 廻りの助けがある村でよかった 都会からお金を払ってでも雪かき体験した人もいるらしい	誰もがつらくない無理のない制度 仕事としてきちんとお金をいただけるシステム作り 除雪サービス担い手確保のための除雪範囲の明確化と徹底
こんな人いるよ	こんなところあるよ	続けていくには

除雪ボランティア制度ですが、今年、私もやらせていただきました。その中で実感したのが、除雪ボランティア制度自体が、あまり認知されていないことです。この制度について告知、周知、宣伝努力が必要だと感じます。それのお手伝いという形で自治会の方々にも、大いに宣伝してもらいたいということです。

また、AIを活用した効率的な除排雪体制の構築。デジタル化も進んできて、ボタン一つで色々なマッティングができる制度ができたら、使われる人にも、使う人にも良いんじゃないかということです。

あとは、閑散期に入った農家さんの活用。立派な重機を持っている方たちが多いので、これを単独で活動するのではなく、そういう活動団体として、制度化して活動してもらえるようになればいいなという話が出ました。ちなみにこの、農家さんの活用システムは、新篠津などでやっているそうなので、検討の余地はあるのかなと考えます。

続けていくには何が必要かということですが、除雪サービス担当確保のための投雪範囲の明確化と徹底。除雪サービスをするうえで、幅1メートル、公道までということが決まっているんですけど、要求されるサービスが過剰な部分もあるということです。あとは、誰も辛くない無理のない制度。仕事としてきちんとお金をいただけるシステムづくりが必要なんじゃないかという話がありました。以上です。

【事務局】

続きまして、ゾウ席の方、発表をお願いします。

【ゾウ席（教育・伝承）水崎委員】

ゾウ席は教育・伝承ということで、総じて、やっぱり課題なのは、この2年間のコロナ禍。そこで、今までの継続してきたものが、断絶することを危惧しています。特にお祭り関係とかそういうところだと思います。

個人ができること	自治会ができること	支所ができること
絵心ある人を大募集 関係人口 お年寄り調べ学習 高齢者に子どもがスマホを教える 浜益陣屋跡の歴史	浜益音頭保存会もあるよ 浜益音頭の継承(おまつり) 豊漁太鼓 やっこ、てんぐ、沖揚げ音頭 みんなに声をかける	予算の確保 交通(足・バス)の確保
浜中体験入学 浜中公開(授業・図書室・校地) 浜中公開(幌中・浜高の資料) 浜中祭で地域の方の出し物 地域の人に聞かれた学校づくり、コラボ 浜中で青空体操 浜中 格技場までの避難体験	ゾウ席 教育・伝承 ・地域と学校の関わり→青空体操教室、古老から歴史を学ぶ ・参観日、ハマスマ活動(浜中)、コロナに負けるなスペシャル動画(浜小) ・浜益昔ばなしの更新→語り部がいるうちにネタ集め 木村美幸、水崎 理、佐々木大樹、芳賀武士、川村佳広 佐藤政喜	はまます昔ばなしのデジタル版 方言を活かす 浜益の教育盛り上げプロジェクト隊 浜益ソウルフードでオモウマイ店に出る 9月9日浜中マルシェお買い物ツアー 沖揚げ音頭を区民と一緒に スポンサーをつけて資金確保
こんな人いるよ	こんなところあるよ	続けていくには

支所にはやはり、お金とか、足の確保をお願いしたい。

それから、こんなのがあらいいなというのは、ざっくり浜益を盛り上げる企画ということです。

あと、こんなところあるよっていうのは、海あり、山ありです。この春、本校には5名の転入がありました。その職員も、日高からと新採用からと札幌からですかね。口々に、安瀬は地中海みたいだって言うのですよ。この景色が。そして、送毛トンネルを出た瞬間、ここはアルプスですかと。そういうのが地域の財産なんだと思います。

こんな人いるよっていうのは、創作人形を作っている方をはじめ、地域の第一次産業をリードしてくださっている方々を大切にしていきたいということです。最後、学校ができることということで、学校は今、人が欲しいです。生徒が欲しいです。ともすると、本当に60歳や70歳でもいいなと思います。そうしないと、2年後、3年後、いくら良い一つのものができたところだと考えます。できたら、その準備とか、さらに盛り立てていくには関係人口と、転入者。そしてできるのであれば、減らさないっていう。そういうことのために、努力したいと思いますし、あとは、学校としてできることは、地域のお年寄りの方々等に校舎を公開をすることです。私としては、授業も体験してほしいし、図書室も見てほしいし、場合によっては校地を散策していただいて、幌中の資料や浜高の資料を見ていただいたり、そして、青空体操教室や除雪の手伝いなど、学校として関われることはいくらでもあると思います。

【事務局】

続きまして、カメ席の方、お願いします。

一次頁へつづくー

【カメ席（危険対策）柿崎地域振興課主査】

われわれカメ席は危険対策ということで、頑張って出した意見を報告したいと思います。

個人ができること	自治会ができること	支所ができること
通報 デマンド・混乗バスの利用（交通安全→車・自転車に頼らない）	所有者等への注意喚起（危険空き家） 小グループに分けた訓練の実施（自治会内） 避難集会場所をわける	歩きやすい道路 本庁との連携で対応（危険空き家所有者特定） 散歩中の反射板配布
ポスター等の作成による注意喚起	カメ席 危険対策 ・危険空き家対策→倒壊や火災の危険、獣の侵入 ・Withコロナ対応の防災・避難訓練 →避難者の密等要対策事項の見直し、高齢化に対応した避難の仕方 ・畜獣離隔→農作物被害、接触事故防止、通学路・学校敷地の安全確保、副産物としてジビエの活用 佐藤晃一、徳地克実、高橋克明、伊藤英司、宇野博徳、 柿崎恵一	空家バンク 害獣定置網 ITとかICTの活用
学校ができること	FMラジオ（地方）・コミュニティFM	わなの資格取得
こんな人いるよ	こんなところあるよ	続けていくには

まず、個人ができることということで、身の回りに通報すると。とにかく何かあったら通報するということ。

あと、避難訓練については、もっと小グループに分けた訓練を実施ということです。また、避難集会場所も、もうちょっとコンパクトに分ける。

支所ができることということで、歩きやすい道路、修繕箇所の点検など、つまづいたり、車を落とさないようにすること。また、本庁との連携で対応するということ。

こんなのがあったらいいなということで、空家バンク。それと、これは鹿とか熊の部分ですけど、海にある定置網のように、害獣の定置網みたいなのがあったらいいなという意見。

また、ITとかICTの活用をしたらいいなというのがありました。

こんなことあるよってということで、防災無線が聞こえないという声があるので、コミュニティFMというような形で、室内で聞けるようになったら良いなという意見がありました。

【渡邊会長】

長時間にわたりまして、いろいろな意見を出していただきありがとうございました。この辺で意見交換は終了したいと思いますけれども、今日出された意見は、事務局のほうでいったん整理していただいて、次の協議会で報告していただければと思います。また、関連する情報などもありましたら、その時に併せて情報提供をお願いしたいと思います。

それでは次に、その他ですけれども、皆さんからこの場を借りて、連絡事項や、話題提供等ございましたら、出していただきたいと思います。

【開発市民福祉課長併浜益生涯学習課長】

千代志別会館と御料地会館の廃止に関するパブリックコメントの実施について情報提供をさせていただきます。パブリックコメントをするに至った経過ですけれども、両会館は、御料地自治会、千代志別自治会の両自治会において管理を行っております。

ただ、両自治会長から、地域の人口減少のために施設の利用が著しく減少して、今後の利用増も見込めない。また、管理運営業務を担う人もいなく、後継者もないということから、この度、両会館を廃止するというのであります。

意見の募集期間は4月15日から5月14日で、意見提出方法は、ファックス、メール、郵送等によります。なお、意見の提出先は本庁、広聴・市民生活課となっていますので、意見のある方はそれぞれ、応募願いたいと思います。以上です。

【渡邊会長】

今、開発課長から報告がありましたけれども、何か確認したいということはありませんか。

～ 確認・意見なし ～

なければ、引き続き事務局からお願いします。

【事務局】

浜益ふるさと市場が今年も開催されます。例年どおり5月中の日曜日、1日、8日、15日、22日の計4回、朝7時より販売を行います。感染予防対策のため、マスクを着用した来場をお願いするとともに、焼き台コーナー等のイベントを行わず、物販のみの開催となります。

ポスターや石狩湾漁協浜益地区青年部のSNS等でも広く周知されておりますので、朝市を盛り上げていきたいと思っております。

次に、昨年に引き続き、カフェストがオープンいたします。昨年度より、旧適沢コミセンにて期間、曜日限定で営業しておりましたカフェストが4月23日よりオープンしております。経営者は以前からご紹介していた、元浜益中学校教頭の加藤先生の奥様、加藤佳久子さんです。金曜日、土曜日、日曜日と祝日のみの営業とのことですが、コーヒー、紅茶のほか、浜益のサクランボなどのジャムを使ったお菓子なども提供したいとのことですので、お時間がございましたら、どうぞお気軽にご利用いただければと思います。また、6月より始まるワーケーションにおいても、利用者のほっと一息の場所、交流の場所として利用されることを期待しております。

次に、先日の新聞記事及び資料をつけております、川下海岸グリーンインフラ実証事業を昨年から始めております。北大農学研究院の松島先生のご協力を得まして、毎年、冬の時期の西風で発生する川下海水浴場からの飛砂被害を、自生する植物で、なんとかしようという実証実験です。

昨年、1年目は、浜益小学校、浜益中学校の児童・生徒のみなさんのご協力を得まして、川下海岸に自生する海浜植物の種の採取し、苗を作る作業も協力していただいております。今年につきまして、また2年目として、引き続き、研究成果を活かし、この実証を続けてまいりますので、ご注目いただければと思います。

次に、例年実施しております海浜美化キャンペーン in 浜益です。川下海岸のゴミ拾いです。今年もNP0法人 北海道海浜美化をすすめる会主催によりまして、海浜美化キャンペーン in 浜益が、5月15日の日曜日に開催されます。札幌などから100名ほどが海浜清掃活動を行います。地元の私たちも是非、ご都合合えばご協力していただければと思いますので、ご参加をお願いいたします。5月15日の日曜日の10時30分から開会式、ゴミ拾いは10時40分から12時30分頃までの予定です。

最後に、浜益いっぺかだれやフットパス春の巻についてお知らせします。5月22日の日曜日、浜益コミセンから海沿いを歩きまして、川下に入ったら史跡荘内藩陣屋跡、田んぼが望める農道からは浜益のシンボルである黄金山も望めるコースを歩きます。参加料については、1,000円（保険料、温泉利用料を含む）を当日徴収。定員については20名で、少雨決行。天気が良くなることを祈るばかりであります。今年も広く周知しながら、参加者を募ってまいりたいと思っております。

【渡邊会長】

事務局より報告していただいた内容について、何か確認しておきたいことがありましたらお願いします。

～ 確認・意見なし ～

その他に、各委員の皆さんから何かございませんか？

【徳地委員】

浜益特定地域づくり事業共同組合についてです。法人の登記も終わって、5月1日から事業を開始して、6月1日から、派遣労働を開始する予定です。名称が長いので、通称は「浜ワーク」になりましたので、よろしくお願いします。

【柿岡委員】

集落支援員からです。集落の現状を聞き取るっていうミッションがあります。それに、関して、毎月、月末と月初に、各自治会さんに配布している広報の配布を私と川村さんと、南、北交互でやることになりました。少なくとも、自治会長さん及び連絡員の方には、月に一回必ず、顔を合わせるようにしていきます。

また、近所の方にも私たちがお話を伺いに行くので、何かお話があるときは、その際声かけてくださいということを、近所の方にお伝えいただければなと思っていますので、よろしくお願いします。

【渡邊会長】

次の開催日程について事務局からお願いします。

【事務局】

次回の地域協議会は、今日、グループ討議で出していただいた成果を事務局で整理させていただきまして、結果の報告とそれに関する意見交換などを予定したいと思います。開催時期はおおむね6月初旬を目途に日程調整いたしまして、改めてご連絡をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いします。

7 閉 会

【渡邊会長】

以上をもちまして、第1回地域協議会を終了します。

令和4年5月11日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡邊隆之

